



みよし 市議会だより

創刊号

2004(平成16)年6月10日発行

発行●三次市議会
三次市十日市中二丁目8番1号
電話(0824)62-6179
編集●広報広聴特別委員会



新生『三次市議会』スタート

私たち38人に
ご期待ください!



議場風景

ごあいさつ



三次市議会議長 伊達亮詞

平成十六年四月一日、新生『三次市』誕生後、初の臨時会（四月二十八日開催）におきまして、三次市議会議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、改めて責任の重さを痛感しております。

さて、わが国は、長期化する経済不況と、情報化、国際化の急速な進展、本格的な少子高齢社会の到来、そして環境問題など、大きく変化しております。国と地方に関する「三位一体の改革」によって、今後益々地方分権推進のための地方税財政改革が進んでまいります。三次市におきましても、諸情勢はますます厳しい状況にありますが、若者が夢を抱き、高齢者が安住を感じる魅力と活気がある地域社会を実現することが何よりも肝要であると思っております。

委員会別議員構成を紹介します

()は党派名



副委員長
田村真司
(清政会)



委員長
黒瀬健郎
(創三会)



委員
大森俊和
(市民クラブ)



委員
篠原多恵子
(清流会)



委員
下森宏昭
(創三会)



委員
天野武志
(日本共産党三次市議団)



委員
福岡誠志
(創三会)



委員
國岡富郎
(清政会)



委員
山森英則
(創三会)



委員
久保卓巳
(清政会)

総務常任委員会

10名

市長公室・総務企画部・財務部・会計室・議会事務局・選挙管理委員会・監査委員及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の委員会に属しない事項

私たちのふるさと三次市を、将来にわたり、明るく住みよいまちとして発展させるためには、行政はもとより、企業や団体、そして、市民のみなさまがともに一丸となって進めるまちづくりが必要です。

議会といたしましても、民意の代表機関として、執行機関とは「一步離れて二歩離れず！」を肝に銘じ、議会の果たすべき役割と責任を自覚するなかで、『緑の未来都市^{ふるさと}と夢と元気があふれるまち』三次市の実現を目指し、厳しい変革の時代に求められる知恵と力を結集して懸命に努力していく所存であります。

このたび、創刊となりました『みよし市議会だより』をとおして、議会の活動状況をつぶさにお伝えし、市政に対する理解と関心を深めていただけるような広報紙として、市民とのパイプ役に徹した議会広報づくりを心掛けていくことをお誓いし、創刊号発刊にあたってのあいさつといたします。



三次市議会副議長 下 森 宏 昭

()は会派名



副委員長
岡田美津子
(公明党・市民会議)



委員長
竹原孝剛
(市民クラブ)



委員
島本恒夫
(創三会)



委員
伊達亮詞
(清政会)



委員
登田憲治
(清政会)



委員
中岡恵美子
(市民クラブ)



委員
保実治
(清政会)



委員
亀井源吉
(清流会)



委員
平尾敏之
(創三会)



委員
助木達夫
(創三会)

民生常任委員会 10名

福祉事務所・市民病院部及び市民生活部の所管に属する事項

()は会派名



副委員長
今井資宏
(清流会)



委員長
向井殿逸司
(創三会)



委員
中山昭夫
(清政会)



委員
林千祐
(創三会)



委員
須山敏夫
(日本共産党三次市議団)



委員
小田伸次
(創三会)



委員
森田弘毅
(清政会)



委員
山本広治
(公明党・市民会議)



委員
池田徹
(市民クラブ)

文教自治常任委員会

9名

自治振興部及び教育委員会の
所管に属する事項

()は会派名



副委員長
沖原賢治
(清政会)



委員長
木村春雄
(清政会)



委員
菅三司
(清政会)



委員
山口誠
(創三会)



委員
宍戸稔
(清流会)



委員
近藤勉
(創三会)



委員
久保井昭則
(公明党・市民会議)



委員
平岡誠
(市民クラブ)



委員
竹岡律男
(創三会)

産業建設常任委員会

9名

建設部・産業部及び農業委員会の
所管に属する事項

議会運営委員会

10名

- 委員長 菅 三司
- 委員 竹原孝剛
- 副委員長 山森英則
- 委員 今井資宏
- 委員 天野武志
- 委員 向井殿逸司
- 委員 山口 誠
- 委員 久保卓巳
- 委員 木村春雄
- 委員 岡田美津子

庄原市三次市 学校組合

2名

- 篠原多恵子
- 竹原孝剛

広報広聴 特別委員会

8名

- 委員長 林 千祐
- 委員 須山敏夫
- 副委員長 平岡 誠
- 委員 久保卓巳
- 委員 黒瀬健郎
- 委員 保実 治
- 委員 久保井昭則
- 委員 宍戸 稔

備北地区消防広域 行政組合議会

14名

- 中岡恵美子
- 竹岡律男
- 登田憲治
- 下森宏昭

- 島本恒夫
- 小田伸次
- 田村真司
- 平尾敏之
- 池田 徹
- 亀井源吉
- 山本広治
- 須山敏夫
- 森田弘毅
- 保実 治

広島県北情報 センター組合議会

6名

- 沖原賢治
- 林 千祐
- 大森俊和
- 福岡誠志
- 久保卓巳
- 宍戸 稔

甲双衛生組合議会

6名

- 下森宏昭
- 助木達夫
- 平岡 誠
- 中山昭夫
- 今井資宏
- 近藤 勉

監査委員 (議会議長選出)

1名

- 國岡富郎

農業委員 (議会議長推薦)

2名

- 池田 徹
- 森田弘毅

第1回

臨時会開催!

平成十六年第一回臨時会を、四月二十八日から開催し、次のことが決まりました!

専決処分の承認

- 三次市役所の位置を定める条例の他、一六四件の条例について
- 暫定予算について
- 一般会計
- 特別会計

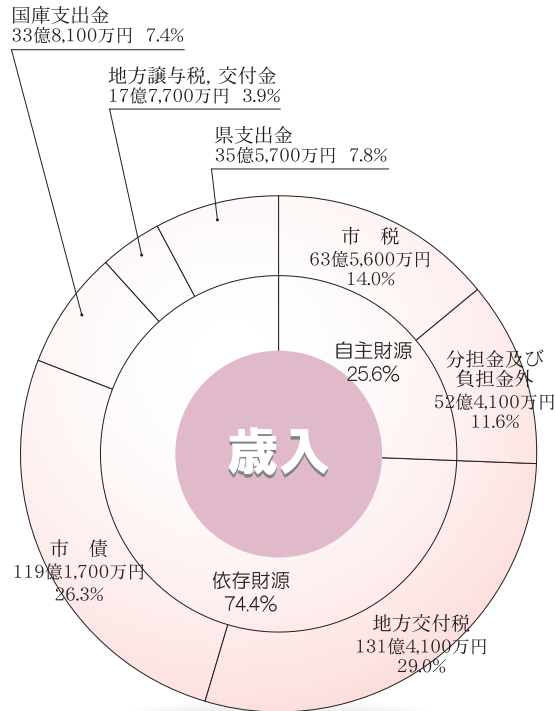
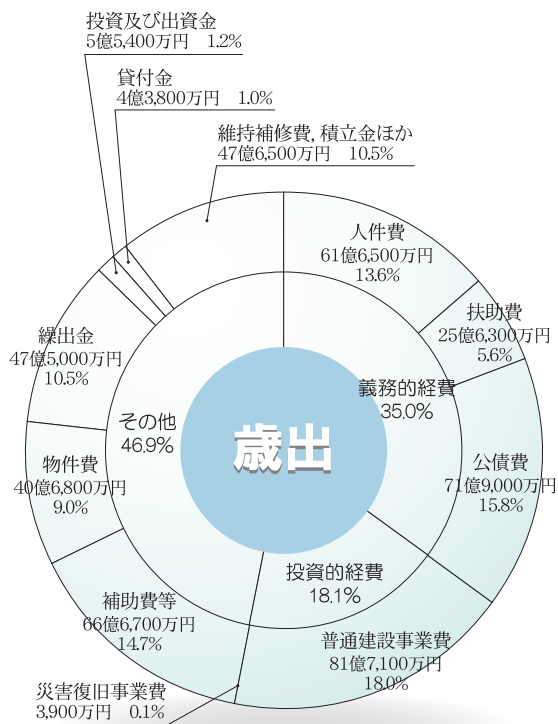
その他

- 町・字の区域変更及び名称の変更
- 指定金融機関の指定
- 備北地区消防広域行政組合・広島県北情報センター組合への加入
- 相互救済事業の委託
- 三次市の特定事務の郵便局における取扱い

四月三十日に会期の延長をし、五月十三日まで、引き続き本予算の審議を行いました。

- 三次市国民健康保険特別会計
- 三次市診療所特別会計
- 三次市老人保健特別会計
- 三次市介護保険特別会計
- 三次市分収造林特別会計
- 三次市土地取得特別会計
- 三次市工業団地等事業特別会計
- 三次市奨学金貸付特別会計
- 三次市夕ム対策特別会計
- 三次市清掃事業特別会計
- 三次市衛生事業特別会計
- 三次市下水道事業特別会計
- 三次市農業集落排水事業特別会計
- 三次市簡易水道事業特別会計
- 三次市病院事業会計
- 三次市水道事業会計

一般会計予算 453億7,000万円



特別会計予算総額 284億4,941万円

(千円未満切捨)

国民健康保険特別会計	56億7,784万円	奨学金貸付特別会計	1億1,419万円
診療所特別会計	4億1,999万円	ダム対策特別会計	8億3,300万円
老人保健特別会計	101億44万円	清掃事業特別会計	13億1,835万円
介護保険特別会計	51億6,580万円	衛生事業特別会計	2億142万円
分収造林特別会計	1億5,956万円	下水道事業特別会計	22億180万円
土地取得特別会計	167万円	農業集落排水事業特別会計	12億6,776万円
工業団地等事業特別会計	3,189万円	簡易水道事業特別会計	9億5,570万円

病院事業会計

(千円未満切捨)

収益的	収入	73億6,724万円	資本的	収入	10億4,038万円
	支出	73億6,693万円		支出	30億2,629万円

水道事業会計

(千円未満切捨)

収益的	収入	9億9,078万円	資本的	収入	8億3,883万円
	支出	9億3,495万円		支出	11億5,463万円

平成十六年度予算を一部修正して可決!!

予算特別委員会報告(要約)

平成十六年度予算の審査は各常任委員会単位で分科会を設置し、それぞれの所管の事項の審査を行った後、総括質疑・採決を行いました。
今回の予算審査の過程で最も議論が集中し、最終的に修正することとなった、市長及び議長の交際費についてご報告します。

修正事項…

1. 議会費 議長交際費 五百万円を二百五十万円に改める。
2. 総務費 交際費中 市長交際費 一千万円を七百万円に改める。
3. 予備費 四千万円を四千五百五十万円に改める。

修正理由…

1. 新生三次市予算は、新市まちづくりに対する市長の姿勢であり、一千万円の交際費については、行財政改革に逆行するものである。
2. 平成十五年度の八市町村長の交際費合計は、一千百七十八万円で、実績を下回った予算編成である。その努力には一定の理解はできるが、合併にそった意義が見当たらない。

3. 支出の必要性等、精査を充分に行い使途基準を明確にし、特殊事情の発生した場合に再考すべきである。同じく議長交際費についても同様とすべきである。

このような理由から、交際費については賛成多数で、修正すべきものと決しました。

その他、審査の過程で出された要望意見についてとりまとめました。

- ・自動車借上げについて、可能な限り公共交通機関を利用して、経費節減に努められたい。
- ・パソコンの導入について、いまだに納入されていないことは、市政への不信感を招いている。入札及び契約は公平性・透明性の更なる確保に努められたい。

- ・はらみちを美術館建設について、地域審議会等で審議して、慎重に実施されたい。

- ・財団法人 奥田元宋・小由女美術館の設立は、早期設立を目指し、準備委員会を中心に計画性をもって進められたい。

- ・ETC機器を車に搭載するにあたっては、市民感情を考慮し、今一度必要性を検討されたい。

- ・市内十六カ所にある福祉保健センターの有効利用については、人的配置を図り、常時開設と地域住民の要望を踏まえた福祉保健の拠点となるよう、責任と自覚を持った対応を図られたい。

- ・放課後児童クラブの定員の増加と施設の確保を図り、子育て支援の充実を検討されたい。

- ・消費生活相談の拡充の一環として、多重債務者対策の相談窓口の開設など、市民ニーズに応えられたい。

- ・男女共同参画基本計画策定にあたっては、先進地の特色ある内容をもった計画を参考にして策定を進められたい。

- ・環境保全の観点において、水質検査等各調査の結果報告を広報紙に掲載し、市民の環境保全意識の高揚を図られたい。

- ・新市における民生委員の現在の確保と選任あたっては、県との調整と地域の実情を踏まえた推薦を図られたい。

- ・高齢者・介護者慰労金の支給要件の拡大を検討されたい。

- ・市内老人クラブの補助金の増額と高齢者対策、生きがい対策の充実を図られたい。

- ・通所バス運行にかかわって、広範囲な生活交通対策の整備を図られたい。

- ・児童数二十人以下の小規模校の統合については、地元の検討委員会を設置するなど、住民の意見を反映したかたちでの取り扱いを検討されたい。

- ・昨年から実施されている学力到達度テスト(CRT)の結果の公表については、慎重に取り組まれたい。

- ・公民館のあり方について、予算措置を講ずるとともに行政が急激な変化を押し進めるのではなく、住民の理解と意識改革を行う中で慎重に取組まれたい。

- ・道路生活基盤の整備については、より一層予算措置を講じられ、市民生活向上のため、早期の事業実施に努められたい。

今臨時会は、新生・三次市にとりまして、記念すべき最初の予算審議でありました。市民の付託にこたえるべくコンセンサスを十分に図りながら、人々の活力と知恵の結集をし、中国地方の内陸部の中核拠点都市の建設を目指し、十八項目の要望意見を付して、議案第四号「平成十六年度三次市一般会計予算(案)」について、一部修正を提出し、賛成多数で可決すべきものと決しました。

議員提案による意見書

「国民年金保険料未納の国会議員名全員公表と閣僚の辞任を求める意見書」を全会一致で可決し、内閣総理大臣他関係機関へ提出しました。

次の人事案件に
同意しました。
(敬称略)

- 副市長(助役) 竹重博樹
- 収入役 杉下公弘
- 固定資産評価審査委員会委員 水本行亮 有原武子
- 固定資産評価委員会委員 松田正司
- 固定資産評価員 山口博樹
- 監査委員 伊藤俊清 岡富郎
- 公平委員会委員 吉永雅則 松村紘二郎
- 教育委員会委員 前田茂 藤川寿
- 大倉勝則 片岡久
- 沖田晴江

議会の日程

- 4月11日 三次市長・三次市議会議員選挙告示
- 4月18日 三次市長・三次市議会議員選挙
- 4月21日 三次市議会議員当選証書交付
- 4月26日 議員懇談会
- 4月27日 会派代表者会議
- 4月28日 第一回臨時会本会議、会派代表者会議
- 4月30日 本会議、議会運営委員会
- 5月6日 予算特別委員会
- 5月7日 予算特別委員会各分科会及び各常任委員会
- 5月10日 総務、民生、産業建設分科会及び常任委員会
- 5月12日 議会運営委員会
- 5月13日 予算特別委員会、議会運営委員会、本会議、広報広聴特別委員会
- 5月17日 御調郡御調町議政行政視察来三
- 5月21日 議員研修会、全員協議会、広報広聴特別委員会
- 5月24日 全国市議会議長公理事会
- 5月25日 全国市議会議長会総会

市議会を 傍聴してみませんか



議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴される方は、当日傍聴席の入口で傍聴券を受け取って入場してください。

なお、団体の場合はあらかじめ議会事務局へご連絡ください。

次期定例会は、6月17日(木)から25日(金)の予定です。

一般質問は、18日(金)と20日(日)、21日(月)の予定です。

お問い合わせは
議会事務局へ
TEL. (0824) 62-6179

市議会では、
市民の皆様の声
をお待ちしております。

TEL.(0824)62-6179

FAX.(0824)62-6110

E-メールアドレス
gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

あとがき

一昔前「赤信号、みんなで渡れば怖くない」というブラックジョークがはやったことがあったが、国会議員による国民年金の未加入未納の問題はとどまるどころを知らない。ついうっかりで済まされては、国民の政治不信は免れない。

こちらは、ついうっかりではないと信じているが、水道局による水道料の誤請求などは、市民の行政に対する信頼を失墜させたのではないかと思う。

合併により、今まで以上に行政改革を行い信頼される自治体を目指しスタートしたばかりである。我々議員も、チェック機能を強化し、信頼される議会になるよう努力もしなければならぬ。

広報広聴特別委員会の委員も決まり、創刊号を発行することになりましたが、市民の皆様に関心しやすくなり読みやすい広報になるよう取り組んでまいります。

議会や議会広報に対しての、ご意見、ご要望をお寄せください。

(S・H)